

“CST”って？



Core Science Teachers

「理数系教員(コア・サイエンス・ティーチャー:CST)養成拠点構築事業」は、小・中学校教員の理数教育における指導力向上を図ることを目的として、大学と教育委員会が連携し、養成プログラムの開発・実施や地域の理数教育における拠点の構築・活用などを通じて、地域の理数教育において中核的な役割を担う教員を養成する事業です。(独)科学技術振興機構(JST)に企画案を提出し、採択・委託されるものです。

プロジェクト名

大学と教委の強固な連携による早期CST活動を組み込んだ包括的な養成プログラム

プロジェクト概要

理数系教員(コア・サイエンス・ティーチャー:CST)に要求される能力として、

1. 基礎学力
2. 観察・実験能力
3. 授業実践力
4. 専門・先端科学理解力
5. 他教員への支援力

の5つを挙げました。学部必修授業を基本とし、学習領域の補充強化と最先端研究に関する専門的知識と理解力の修得を重視し、実験観察技能習得と教育体験を有機的に結びつけ、大学と附属学校教員、教育委員会が連携した養成プログラムを提案しています。実践的理科指導力を持った現職教員においては、4と5を集中研修によって修得することで早期にコア・サイエンス・ティーチャー:CSTに認定する予定です。現職教員のCSTはCST養成学生を理科支援生として指導し、質の高い理科実践を教示します。CSTが勤務する小・中学校を理数教育支援拠点とし、地域における研修会開催等の活動に対する支援を行います。

本プロジェクトは、滋賀大学が滋賀県、大津市、彦根市、草津市、および東近江市の各教育委員会の協力を得て実施しています。

